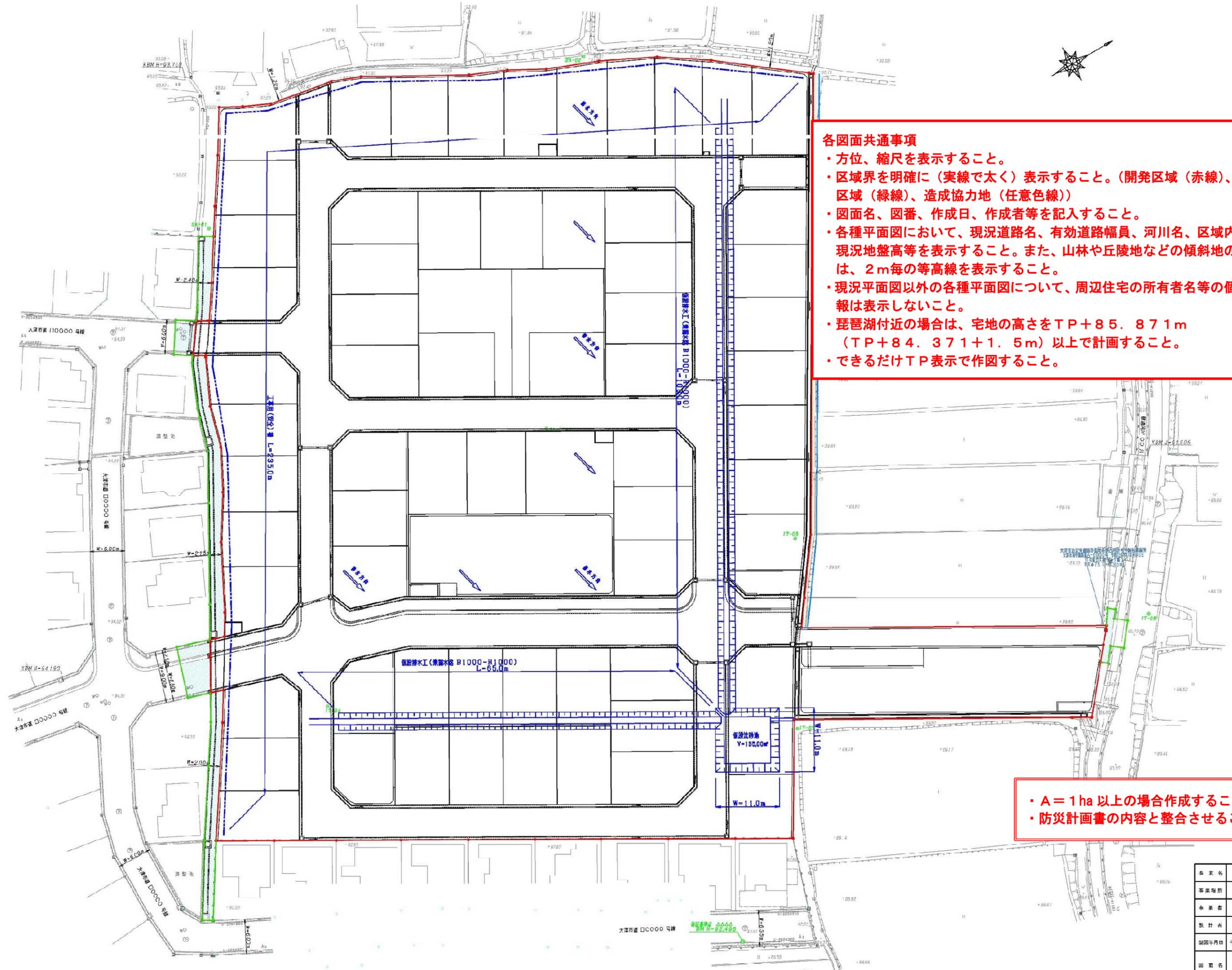




**各図面共通事項**

- ・ 方位、縮尺を表示すること。
- ・ 区域界を明確に（実線で太く）表示すること。（開発区域（赤線）、関連区域（緑線）、造成協力地（任意色線））
- ・ 図面名、図番、作成日、作成者等を記入すること。
- ・ 各種平面図において、現況道路名、有効道路幅員、河川名、区域内外の現況地盤高等を表示すること。また、山林や丘陵地などの傾斜地の場合は、2m毎の等高線を表示すること。
- ・ 現況平面図以外の各種平面図について、周辺住宅の所有者名等の個人情報は表示しないこと。
- ・ 琵琶湖付近の場合は、宅地の高さをTP+85.871m（TP+84.371+1.5m）以上で計画すること。
- ・ できるだけTP表示で作図すること。



凡	例
— (Red line)	開発区域線
— (Green line)	関連区域線
— (Blue line)	造成協力地

- ・ A = 1 ha 以上の場合作成すること。
- ・ 防災計画書の内容と整合させること。

事業名	〇〇〇事業
事業場所	大津市〇〇〇一丁目
事業者	〇〇株式会社
設計者	〇〇株式会社 大津 大郎
図面年月日	令和〇年〇月〇日 1/300
図面名	防災計画平面図 19